

# あらすじ @ 1行シーン



yukinari

## ひととなり

---

俺たちは、

<罪>を犯さなければ、

<人間>にはなれない。

\*\*\*\*\*

何かしらそういうことは、あると思う。

何かしらの<罪>を犯し、

僕らは成長していく。

## 秘密

---

「この二人の正体は、

私だけが知っている。」

怪しげな仮面もしくは着ぐるみを着た、

性別不明正体不明日常生活不明の2人組がいて、

みんなはその二人の素性を知りたがるわけですよ。

せめて性別だけでも！ とか

声だけでも！ とか。

しかし、そういう二人のことを唯一知っている人がいる。

性別も名前も性格も素性も本名も経歴も全部何もかも。

それが主人公。

3人の奇妙な日常生活っていうか関係。

「僕はこの街で、

いったい幾人の人殺しとすれ違っただろう。」

振り込め詐欺のNHKの特集と、  
渋谷のスクランブル交差点の映像を見て  
ふと思った。

東京は人が多い。  
多くの人とすれ違う。

東京には芸能人が多くいるっていうイメージだけど、  
人がいっぱいいる分犯罪者も多い。  
犯罪者の中でも人殺しとすれ違う確率ってけっこう多いのでは？  
という気がした。

## 天へ上る路

---

<あの丘のてっぺんには、  
——天へ通じる階段がある。>

天を夢見る人たちの話。

自由とか、

束縛からの解放とか、

結局はすべて妄想で幻想なんですけど。

でも、信じる力は大きい。

信じることでどれだけの力を生み出すのか。

信じることでどれだけの希望を生み出すのか。

信じることでどれだけのものを叶えるのか。

## 空の子ども

---

「なあ、お前は どうやって空から落ちてきたんだ？」

\*\*\*\*\*

俺は空を仰いだ。

雲一つない澄み切った景色だけがそこにはあった。

## どちらが楽か

---

「ねえ、いい人になるのと悪い人になるの、

どっちが楽かなあ」

\*\*\*\*\*

哲学じゃないが、  
ちと考えてしまう。

## 必然

---

いつからそこが〈聖域〉と呼ばれるようになったかは、  
——わからない。

\*\*\*\*\*

- ・ただわかっているのは、  
人が依りつかなくなっただけのことだ。